



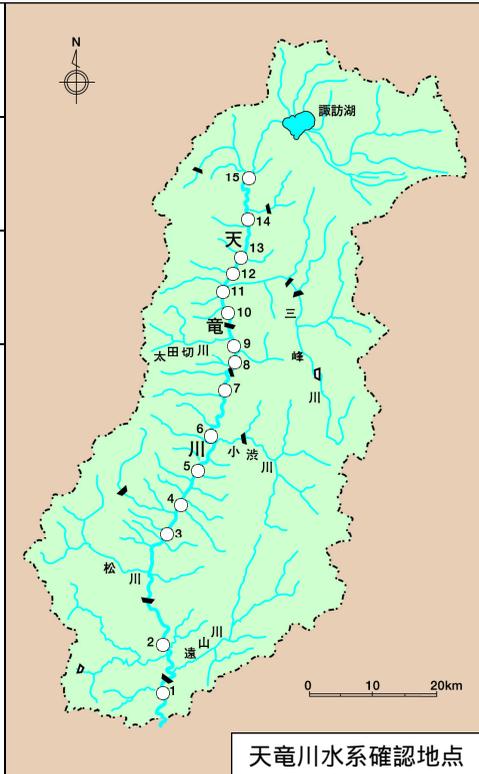
生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
	分布範囲	礫 — 砂 — 泥
生活様式・その他	分布	上流 — 中流 — 下流 池沼

◇低山地の流れがゆるやかで、水のきれいな川に生息する。

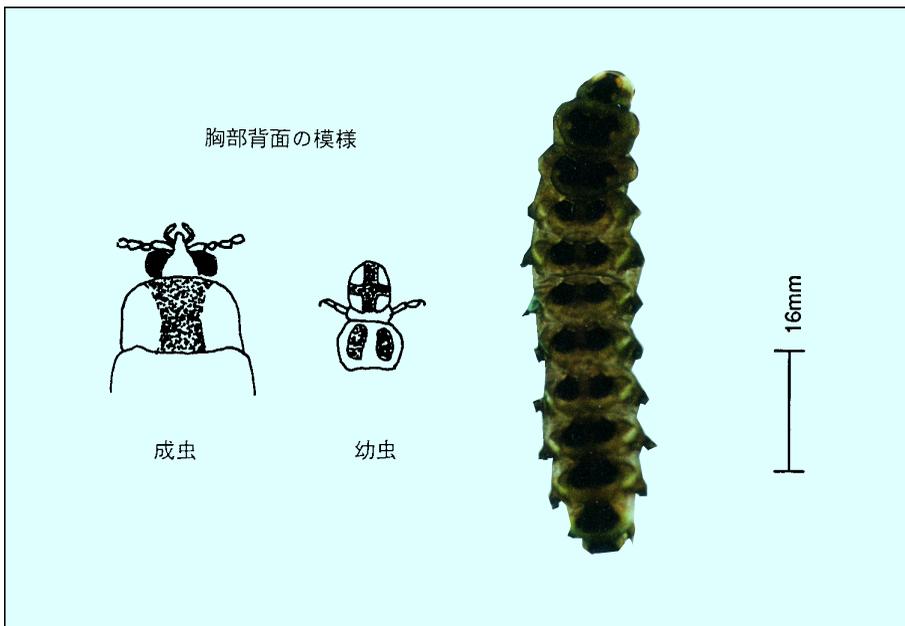
◇ほふく型。砂礫の上や石の間を這って歩く。

◇肉食性。幼虫は7月中旬～翌年4月中旬までの9ヶ月間、水中でカワニナを食べて育つ。その後岸上がって土中で蛹となり、6月中旬～7月に成虫となる。成虫は1週間ほどしか生きられない。

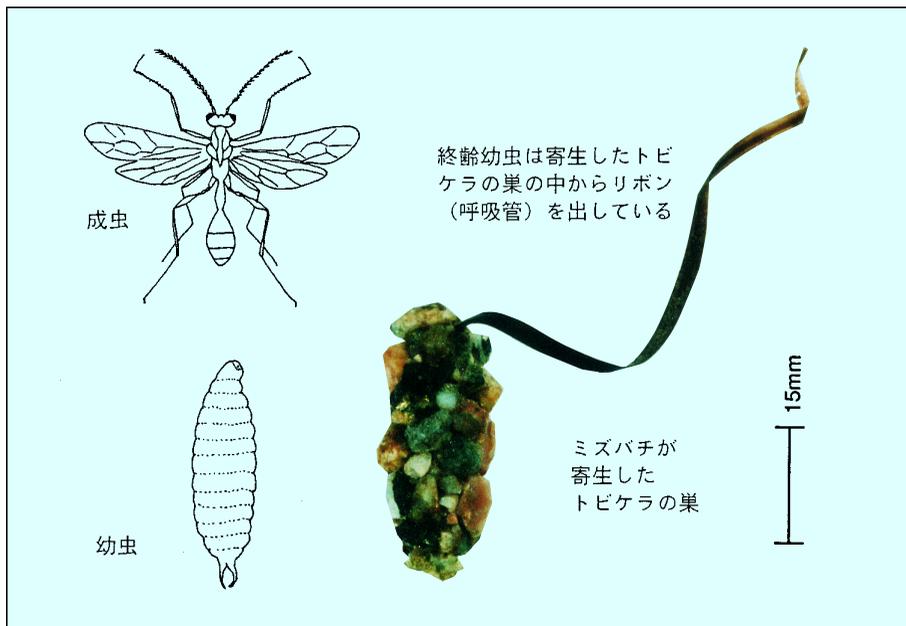
◇天竜川では、主に山間地での生息が知られ、中でも辰野町松尾峡のホタルは有名である。



ヘイケボタル(*Luciola lateralis*)



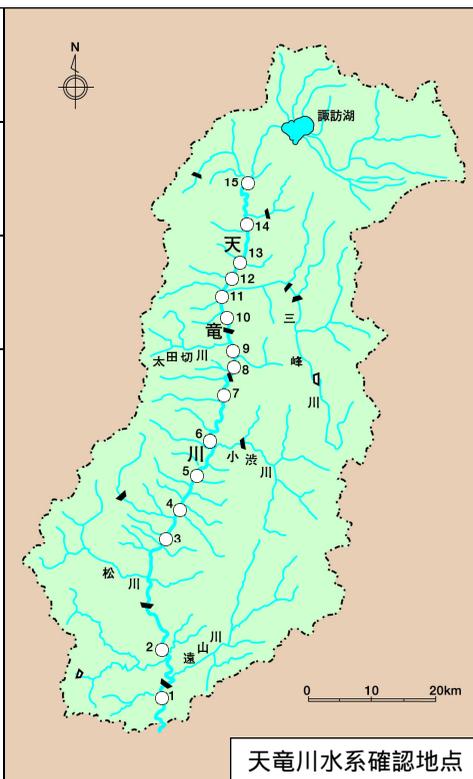
生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps	
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない	
	底質	速い ← → 遅い	
	分布範囲	礫 — 砂 — 泥	
生活様式・その他	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼	<p>◇主に平地の、少し汚れた水の小川や水田に生息する。</p> <p>◇ほふく型。砂礫の上や石の間を這う。</p> <p>◇肉食性。タニシ、モノアラガイなどを食べる。</p> <p>◇成虫の発生は、ゲンジボタルよりおよそ1ヵ月ほど遅い。</p> <p>◇天竜川流域では、全市町村の水田地帯付近に生息しているといわれるが、最近では急激に減少している。</p> <p>◇高森町では、ホタル発生の水路を保護している。</p>
	生活様式・その他	<p>上流 — 中流 — 下流 池沼</p> <p>0 10 20km</p> <p style="text-align: right;">天竜川水系確認地点</p>	

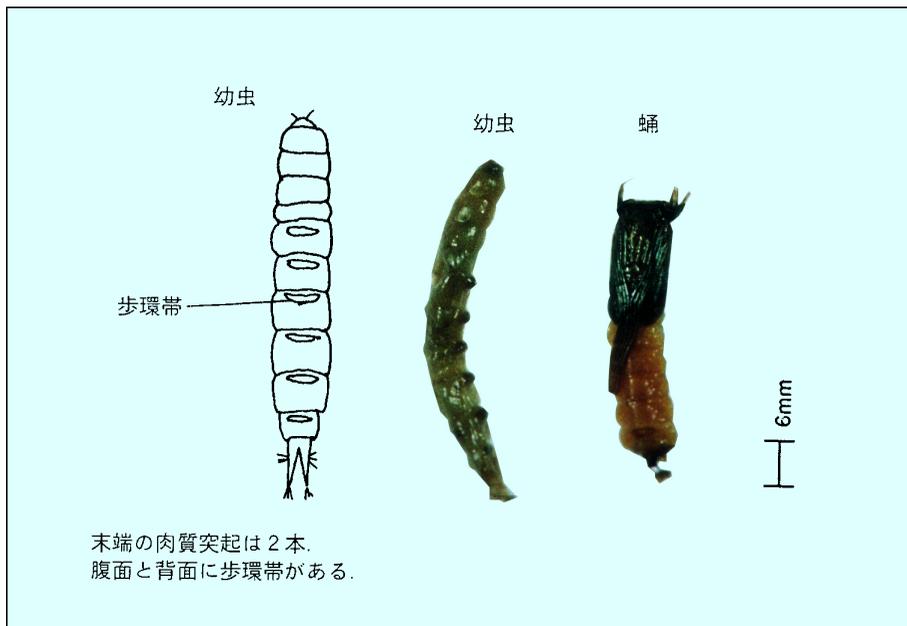


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
	分布範囲	礫 — 砂 — 泥
生活様式・その他	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

◇溪流に生息するニンギョウトビケラなどに寄生する。

◇雌は水草や石をつたって数10cm程度水中に潜り、若いトビケラの幼虫に産卵管を刺して卵を産みつける。寄生された幼虫が蛹化の時期になり、筒巢をふさぐ段階になると、ミズバチの幼虫はトビケラ幼虫の内部を食いつくし、自ら蛹となって越冬する。寄生された筒巢から出ている黒色のひも状の管はハチ・蛹の呼吸のためのものである。

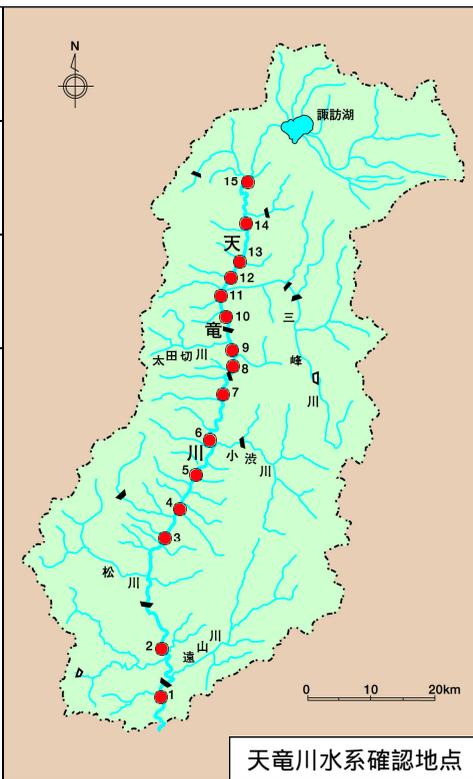




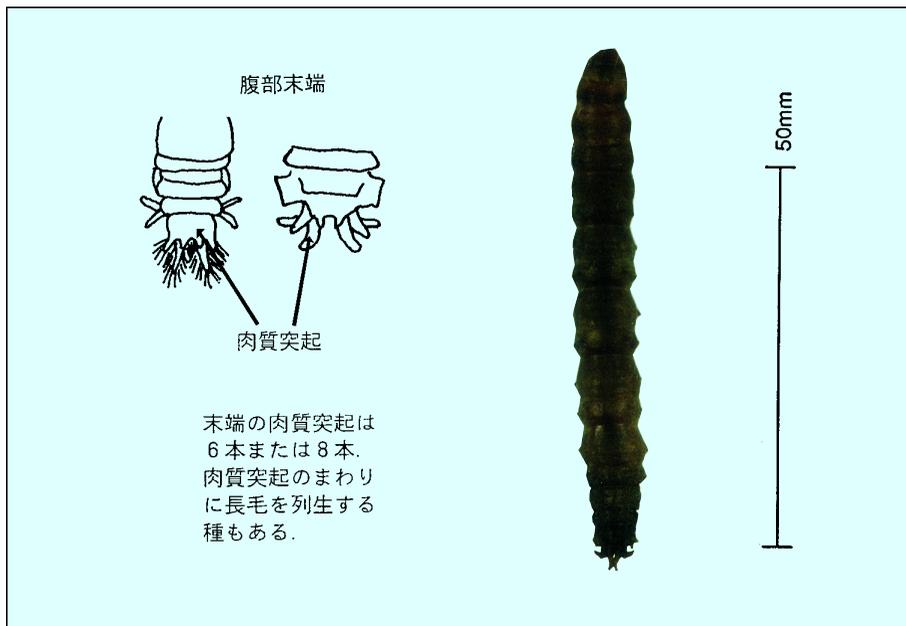
生活場所	水質階級	os — -ms — -ms — ps きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇上流域の流れのゆるやかな砂泥底に生息する。中流域の汚濁したところで多数発生することもある。
- ◇石面に分泌液で膜を張り、その下側に生活する。
- ◇植食性。
- ◇天竜川本川では全川に見られる。



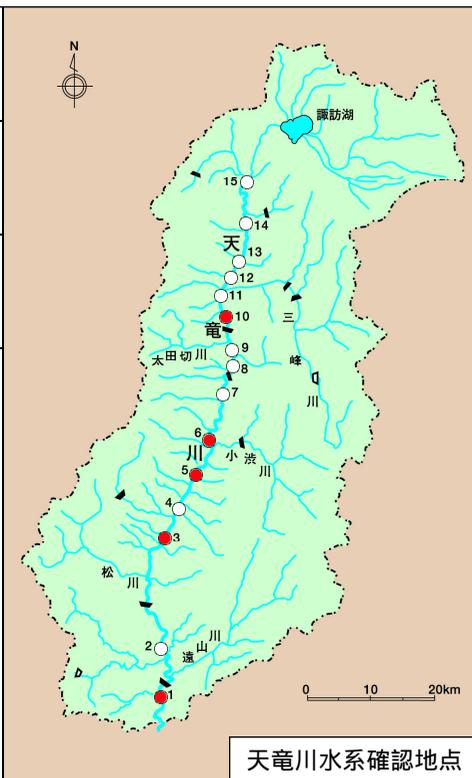
天竜川水系確認地点

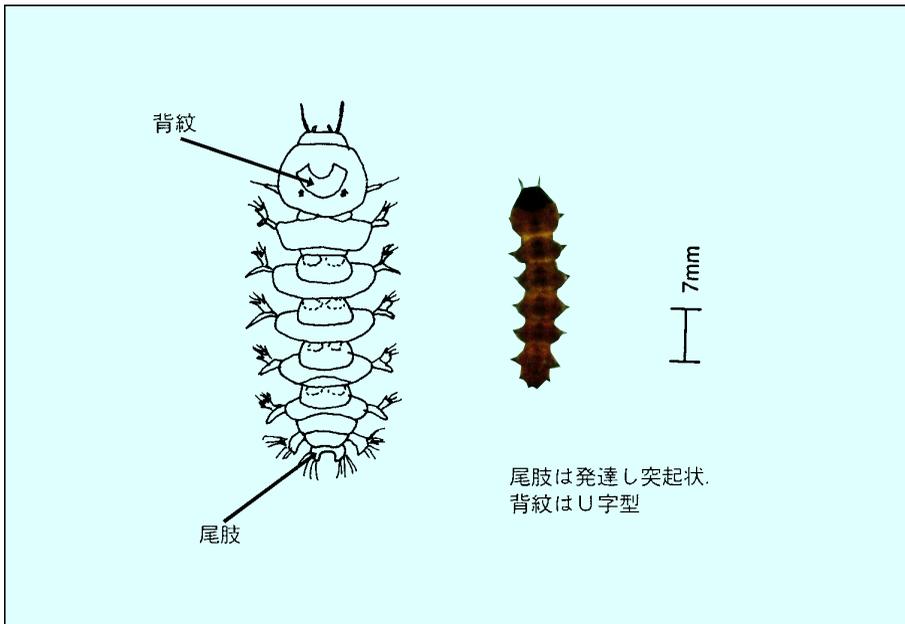


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇山地溪流や上流域に生息する。
- ◇ほふく型。砂地や小石の間に潜って生活する。
- ◇植食性。
- ◇天竜川本川では伊那より下流の5地点で見られた。

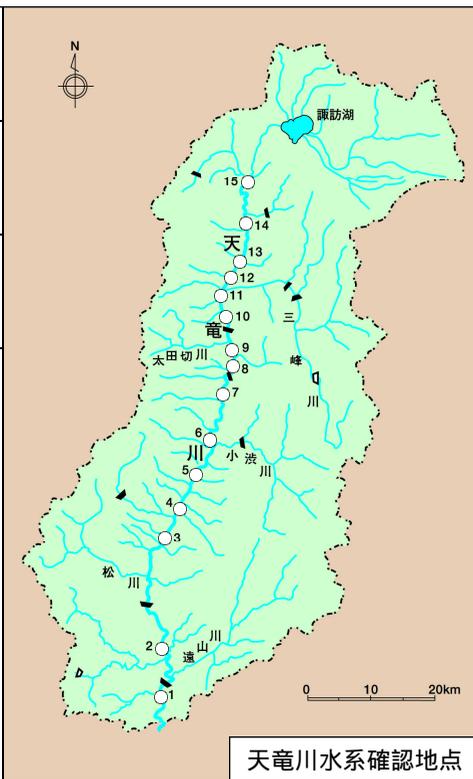


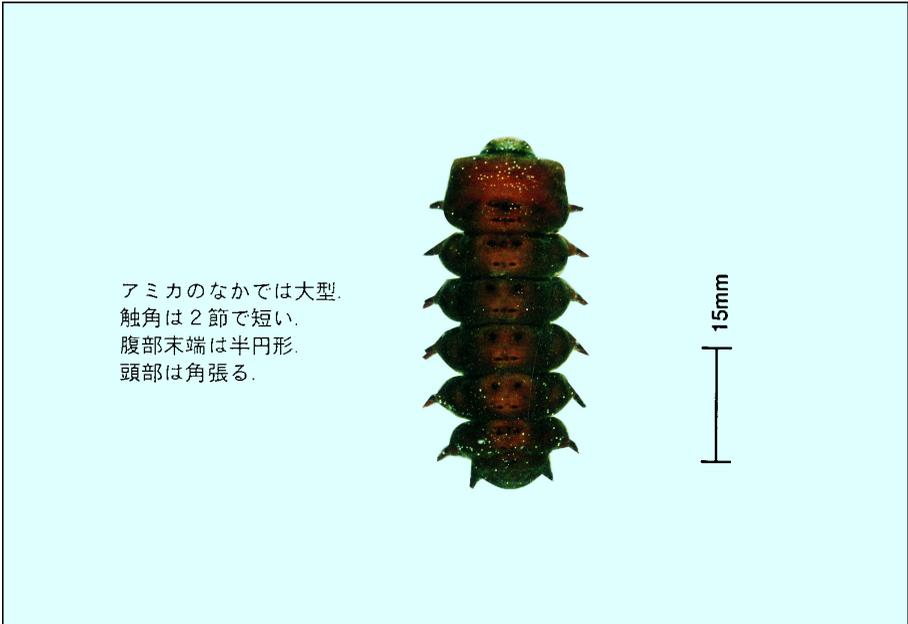


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
分布	底質	礫 — 砂 — 泥
	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇山地溪流や上流域に生息する。
- ◇ほふく型。砂地や小石の間に潜って生活する。
- ◇植食性。
- ◇天竜川本川では伊那より下流の5地点で見られた。

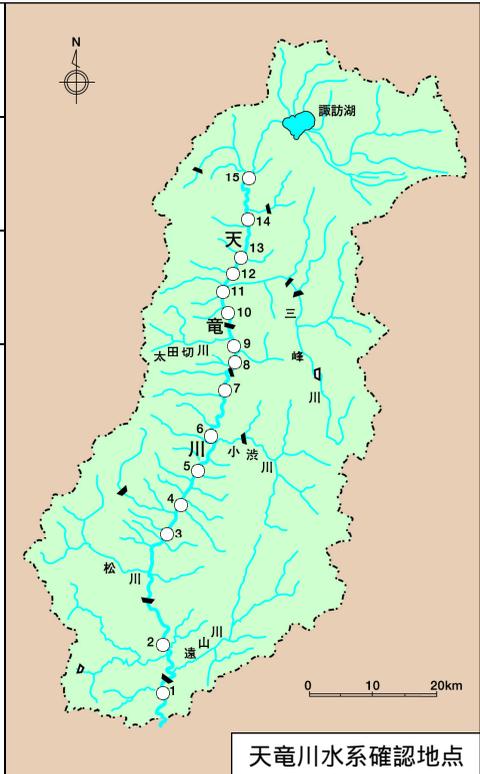




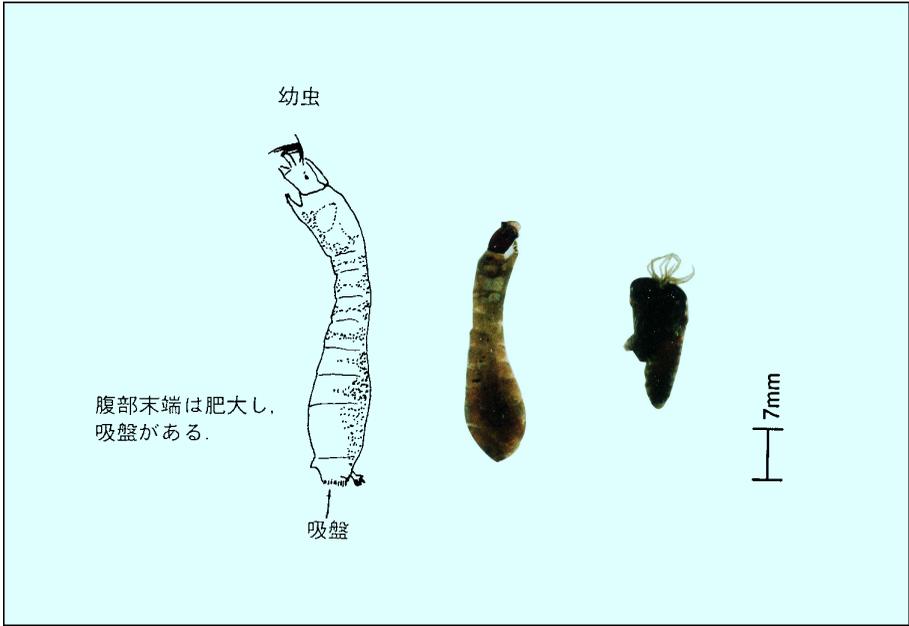
アミカのなかでは大型。
触角は2節で短い。
腹部末端は半円形。
頭部は角張る。

生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
分布	底質	礫 — 砂 — 泥
	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

◇山地溪流部や水のきれいな上流域に生息する。
◇固着型。比較的大型の種で、ややゆるやかな流れの石礫面に付着し、しばしば体表には砂粒を付ける。
◇植食性。石面に付着する珪藻類などを食べる。
◇天竜川流域では、支川上流域でごく普通に見られる。
◇きれいな水の指標生物。



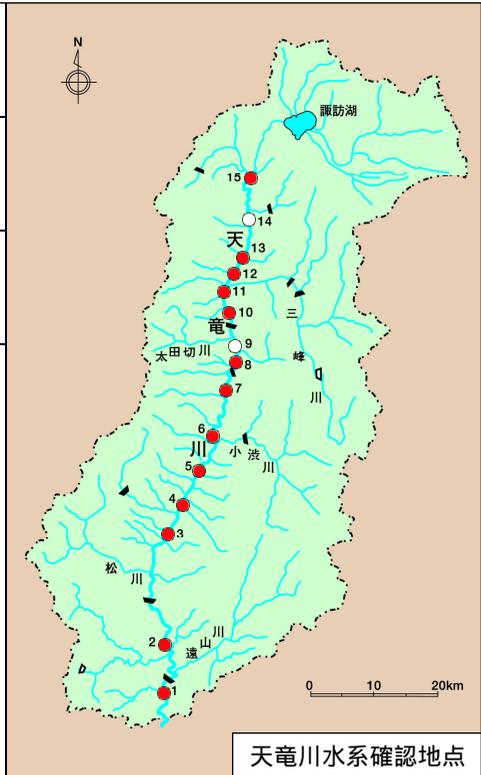
天竜川水系確認地点



生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
分布	範囲	礫 — 砂 — 泥
	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

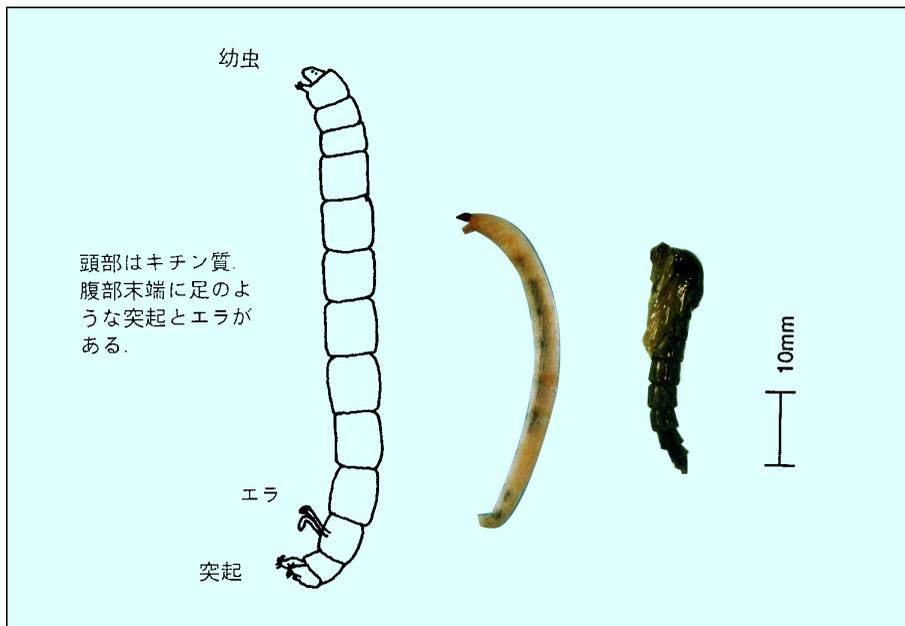
生活様式・その他

- ◇水温の低い山地溪流や上流の急流域に生息する。
- ◇固着型。浅い水深の石礫や枯れ木などに吸盤で付着して生活する。
- ◇植食性。
- ◇天竜川本川ではほぼ全川で見られる。
- ◇きれいな水の指標静物。



天竜川水系確認地点

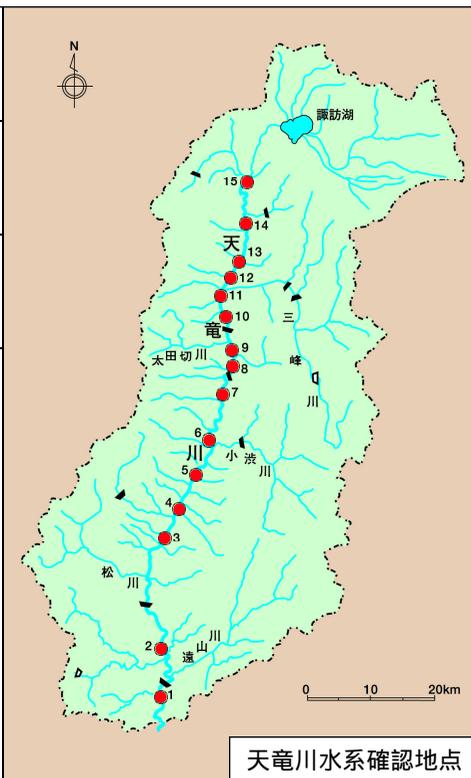
ユスリカ亜科の一種 (Chironominae, sp.)



生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇上流から下流にかけて、様々な場所に応じた種が息する。
- ◇藻類・砂粒などを分泌物で固め、細い棲管を作る種が多い。
- ◇主に植食性。藻類や植物の破片などを食べる。
- ◇天竜川本川では全川で見られる。



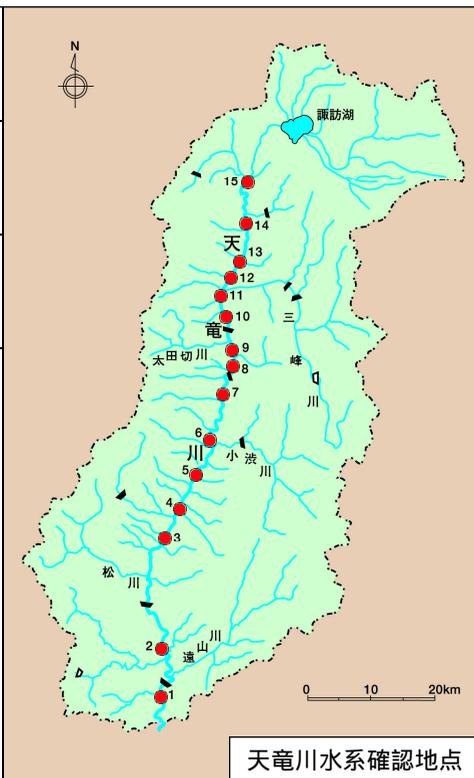
天竜川水系確認地点



生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
分布	底質	礫 — 砂 — 泥
	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇主に中流域の早瀬や平瀬の石礫底に生息する。
- ◇造網型。石礫の間や下に小石で巢室を作り、捕獲網を張る。
- ◇植食性。流下してくる藻類などを捕獲網で捕える。
- ◇年1～2世代で、水温などにより異なる。4月～10月に羽化する。
- ◇天竜川本川では全川で見られる。



●コラム ザザムシってどんな虫？

伊那谷の名物に「ザザムシの佃煮^{つくね}」があります。このザザムシとは、川の浅瀬^{あさな}で“ザ・ザー”と音を立てて流れている所（早瀬）に住んでいる虫、ということからきたようです。

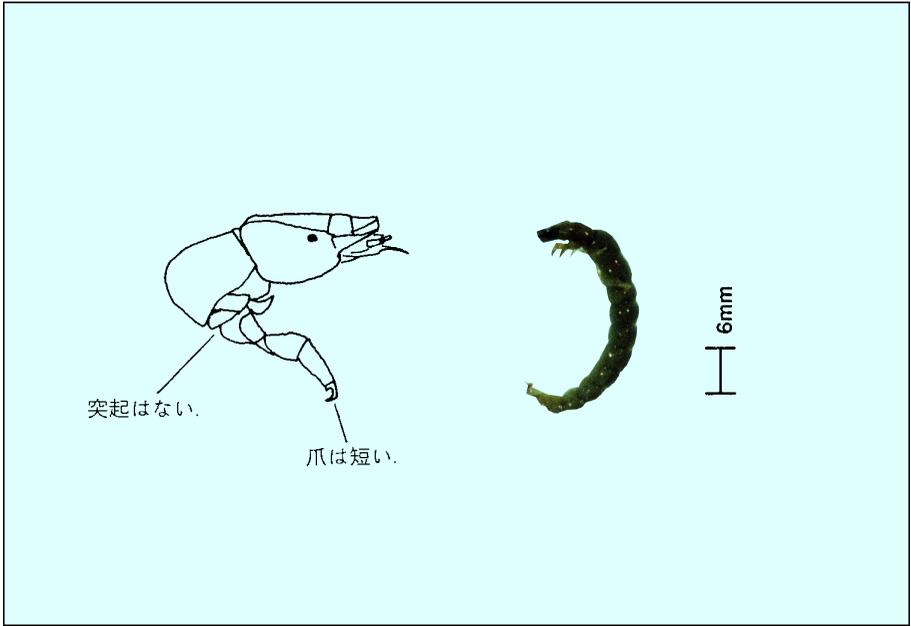
天竜川の水生物の特徴として、ヒゲナガカワトビケラの幼虫が多く見られることが挙げられます。現在ザザムシと言えば、このヒゲナガカワトビケラが主体となっていますが、元祖ザザ虫は、かつてこの場所の主役であったカワゲラ類でした。彼らは環境の変化のためかこの場所を去り、その座をヒゲナガカワトビケラへと譲ったようです。

さて、気になる味は、小魚^{つぐね}の佃煮に良く似て口当たりも柔らかくて食べやすく、お酒をたしなむ方には恰好^{かっこう}の酒の肴のように思われます。

ヒゲナガカワトビケラは釣りのエサとしても良く使われ、天竜川では「アオムシ」または「クロカワムシ」と呼ばれています。これは、頭部以外の全体が濃緑色をしているためにつけられた名前ようです。



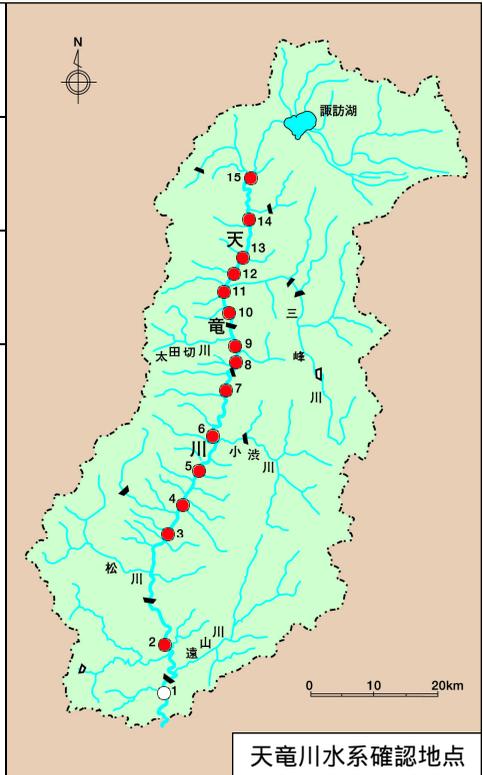
天竜川の冬の風物詩 —ザザムシ採り—

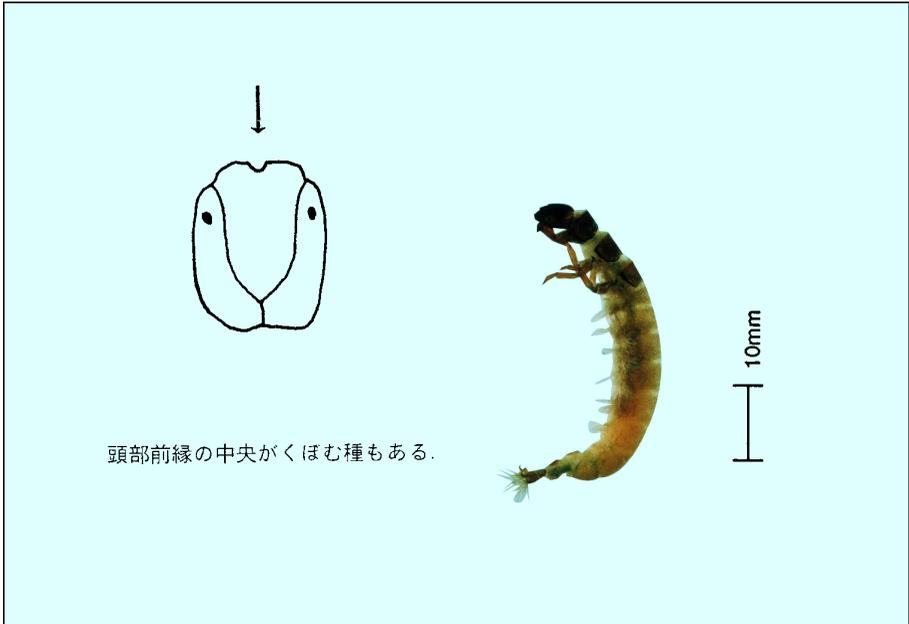


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇主に上流・中流域の早瀬に生息する。
- ◇固着型。岩盤や石礫上に砂粒をつづり合わせた長い筒状の固着巣を作る。
- ◇植食性。珪藻、緑藻などの藻類を食べる。
- ◇天竜川本川ではほぼ全川で見られる。

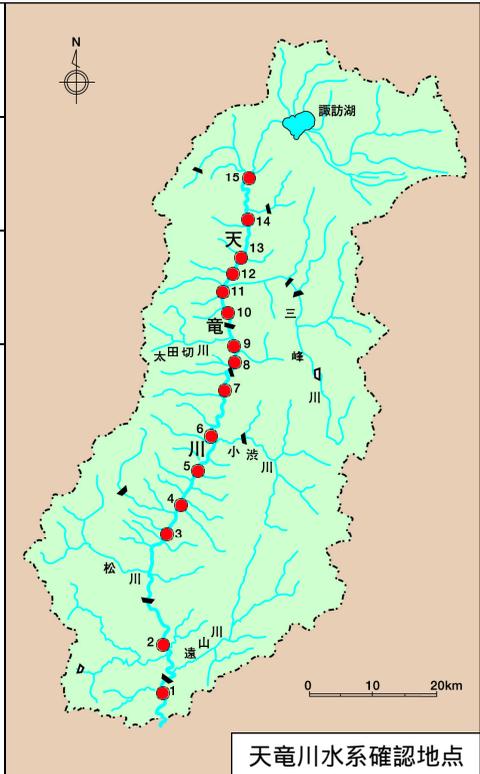




生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
分布	底質	礫 — 砂 — 泥
	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇主に中流域の平瀬に生息し、汚濁にも強い。湖沼の沿岸にも見られる。
- ◇造網型。藻類などが付着した石礫面上に砂粒や植物片からなる巢室を作る。
- ◇植食性。分泌物で網を張り、流下してくる藻類などを食べる。
- ◇成虫は春から秋の長い期間出現する。
- ◇天竜川本川ではほぼ全川で見られる。



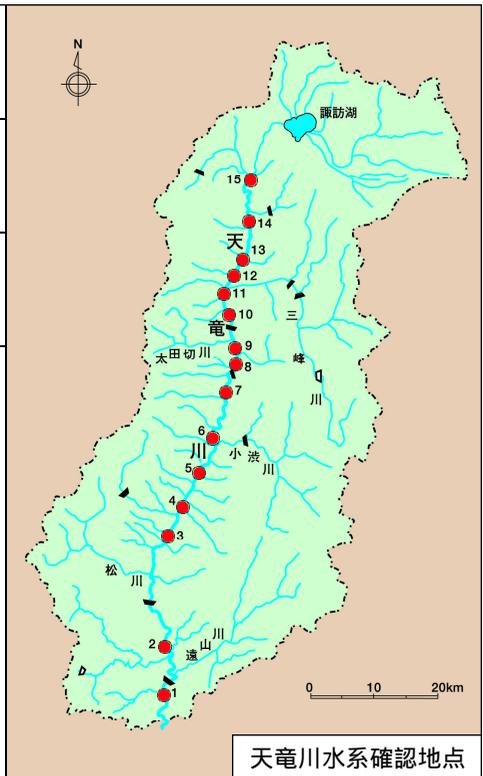


体は毛深く、脚の先に毛の束がある。
頭部にはっきりした模様はない。

生活場所	水質階級	os — -ms — -ms — ps きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇山地溪流から平地の河川まで普通に見られ、早瀬および平瀬の石礫底に生息する。
- ◇造網型。砂粒や植物の破片を材料に、石面上に巣室を作る。
- ◇主に植食性。分泌物で網を張り、流下してくる藻類などを捕獲して食べる。
- ◇春から初夏にかけて成虫が見られる。
- ◇天竜川本川では全川で見られる。



天竜川水系確認地点



生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
分布	底質	礫 — 砂 — 泥
	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇上流から下流にかけての平瀬や早瀬に生息する。
- ◇造網型。藻類などが付着した石礫面上に砂粒や植物片からなる巢室を作る。
- ◇雑食性。主に水中の流下物を濾過して食べる。
- ◇成虫は春から秋の長い期間出現する。
- ◇天竜川本川では全川で見られる。

